



映画批評

『ホリデイ』 原題 The Holiday 2006

～ アメリカと英国の田舎の家を交換してホームステイする

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

映画予告編製作会社の社長アマンドは同棲中の恋人の浮気が原因でケンカ別れしてしまった。そして気分一新のために遠く離れたイギリスに住むアイリスとクリスマス休暇の2週間だけお互いの家を交換する“ハウス・エクスチェンジ”をすることになる。

アイリスは同僚の記者ジャスパーの不意打ちの婚約発表にひどく傷ついて落ち込んでいたが、日光が燦爛と輝くハリウッド住宅地のアマンドの家に来て彼女の心境はしだいに変わっていく。ストーカーのようにロンドンから追いかけてきたジャスパーの心の深底が分かったアイリスは彼と別れる決断をする。隣人の老人介護に手をかす。そして映画音楽作曲家マイルズに出会う。心が傷ついて泣きたくても、けっして一滴の涙もでないワークホリックなアマンドだが、アイリスの兄グラハムに出合って電撃的に意気投合して彼から君を愛すると言われる。

アマンドとグラハム組とアイリスとマイルズ組はキャラクターとして二項対立的でユーモラスである。彼らの役を演じた俳優の組み合わせもそれぞれが対照的な好演技で素晴らしい。

本映画の監督・脚本は Nancy Meyers である。ノーラー・エフロン亡き後を担ってロマンチック・コメディに取り組む彼女の今後の映画作品にも期待したい。

同棲中の恋人の浮気が原因でケンカ別れしてしまったアマンドは、遠く離れたイギリスに住むアイリスとクリスマス休暇の2週間だけお互いの家を交換する“ホーム・エクスチェンジ”をすることになる。アイリスは同僚の新聞記者ジャスパーの不意打ちな婚約発表にひどく傷ついて落ち込んだが、ハリウッド住宅地にある明るい日光が燦爛と輝くアマンドの家に来て彼女の心境が変わっていく。ストーカーのように追いかけてきたジャスパー。彼との会話でやっと彼の深底が分かってアイリスは別れる決断をする。隣人の老人介護に手をかす。そして映画音楽作曲家マイルズに出会う。泣きたくても一滴の涙もでないワー

カホリックなアマダは、アイリスの兄グラハムに出合って電撃的に意気投合して彼から君を愛すると言われる。

アマダとグラハム組とアイリスとマイルズ組がキャラクターとして二項対立でユーモラスに描かれたいる。この2組の役を演じた俳優の組み合わせも素晴らしい。

映画セリフ

◆Iris: Shakespeare said "Journeys end in lovers meeting." What an extraordinary thought. Personally, I have not experienced anything remotely close to that, but I am more than willing to believe Shakespeare had. It was Shakespeare who also said "love is blind". Now that is something I know to be true.

◆Amanda: You know, we might as well be honest with each other.

◆Graham: I have the classic male problem of no follow through. Absolutely never remember to call after a date – but as this wasn't a date, I guess I'm off the hook.

◆Miles: The wind... it's what makes it so warm this time of year. Legend has it, when the Santa Anas blow, anything can happen.

◆Miles: Iris, if you were a melody... I used only the good notes.

◆Iris: Arthur, I've been going to a therapist for three years and she's never explained anything to me that well.

That was brilliant. Brutal, but brilliant.

【映画史リテラシー】

●英語： イギリス/ロンドン アメリカ/カリフォルニア

●場所： イギリスロンドン郊外 Rosehill Cottage, Surry、 アメリカカリフォルニア州ハリウッド

●英米の文化の違いがコントラストして描き出されている。

・ロンドンの新聞社記事作成室 VS.映画予告編製作室の室内

・ハリウッドのプール付き住宅 VS.ロンドン郊外にある羊や牛の牧場付きコテージ

・クリスマスシーズンに英米間で2週間のホーム・エクスチェンジ。 ・カントリーハウスの庭園

・L.A.の海岸通りの和風食レストラン ・ロンドンのパブ VS と家庭パーティ ・Hanukkah party

・育児パパと娘たち ・老人介護 ・12月にサンセットで吹く強風

・『カサブランカ』の名セリフ「君に乾杯！」(“kid”を”Here’s looking at you, kid.”に書き換えた脚本家)はアーサの若き頃(Chap.17) ・名作映画のお勧めビデオ紹介が次々に挙がる

●登場人物：

アマダ： ロサンゼルス在住の映画予告編製作会社社長

アイリス： ロンドン郊外の片田舎に住む新聞記者

グラハム： ロンドン在住でアイリスの兄。2年前に妻に死別後、2児を男手ひとつで育てている

マイルズ： 映画音楽作曲家

アーサー： 90歳の元有名脚本家アーサー

イーサン： 作曲家。アマンダと同棲中だったが、浮気がばれて追い出される

ジャスパー： アイリスの同僚

●DVDのチャプター

Chap 2. アイリスのナレーション(シェイクスピアの言葉を引用して愛の概念を語る)

Chap 6. アマンダがアイリスとEmailで住まいの交換を交渉する場面(Emailで交信する)

Chap 8. アマンダとアイリスがそれぞれ交換した住まいに着いたときの第一印象を表現している場面(異文化体験をする)

Chap 14. アイリスはアーサーに身の上話を聞いてもらって前向きな考えに変わる

Chap 15. デートをしては悪いという理由はない(アマンダとグラハムが身の上話と自分の性格を語る)

Chap 18-21. グラハムの幼い娘たちとの団欒、ナプキンヘッドさんのゲーム 子供部屋のテント

グラハムが父親と独身の役割分担を語る

L.A.の映画製作者とSurryの牧場主&編集者との環境の隔たりを認識

英・日字幕付き 音声吹き替え付き

●【ナンシー・マイヤーズの映画作品】



① 『ハート・オブ・ウーマン』2000年製作

ナンシー・マイヤーズ監督、メル・ギブソン主演作品。

ロマンチック・コメディ。スイング曲がポイントとなるシーンに使われている。

初公開：2000年12月15日(アメリカ合衆国)

監督：ナンシー・マイヤーズ

音楽：アラン・シルヴェストリ

衣裳デザイン：エレン・ミロジック

原作者： キャシー・ユspa、 ジョッシュ・ゴールドスミス、 ダイアン・ドライク

www.interq.or.jp/jupiter/rophy/movie/m027/what_women_want.htm

原題は「女は何を望むか」で、映画もまさにこれを問いかけている。大手広告会社のプロデューサー・ニック・マーシャル(メル・ギブソン)は、クリエイティブ・ディレクターの座を、社外から招かれたダーシー(ヘレン・ハント)に奪われる。現代の最大消費者であるのは女性、というわけであるから、さて一と。

② 『恋愛適齢期』2003 年製作

2003 年 12 月 12 日にアメリカで公開、日本では翌年 3 月 27 日公開のアメリカ映画。

熟年男女の恋愛をテーマにしたロマンチック・コメディ。

初公開： 2003 年 12 月 12 日 (アメリカ合衆国)

監督： ナンシー・マイヤーズ

音楽： ハンス・ジマー

脚本： ナンシー・マイヤーズ

衣裳デザイン： スザンヌ・マケイブ

出演者

ダイアン・キートン

ジャック・ニコルソン

キアヌ・リーブス (ジュリアン・マーサー)

ジュリアン・マーサー

③ 『恋するベーカリー』 2009 年製作

ナンシー・マイヤーズ監督によるロマンチック・コメディ。DVDにした際に『恋するベーカリー ?別れた夫と恋愛する場合?』というサブタイトルが追加された。ウィキペディア

初公開： 2009 年 12 月 25 日 (アメリカ合衆国)

監督： ナンシー・マイヤーズ

衣裳デザイン： ソニア・グラント

DVD 発売日： 2010 年 4 月 27 日

音楽： Heitor Pereira、 ハンス・ジマー

出演者

メリル・ストリープ

アレック・ボールドウィン

スティーヴ・マーティン

[映画情報]

『ホリデイ』原題： THE HOLIDAY 2006

上映時間 135 分

製作国 アメリカ

公開情報 劇場公開(UIP) 初公開年月 2007/03/24

STAFFS & CASTS

監督: ナンシー・マイヤーズ

製作: ナンシー・マイヤーズ

ブルース・A・ブロック

製作総指揮: スザンヌ・ファーウェル

脚本: ナンシー・マイヤーズ

撮影: ディーン・カンディ

美術: ジョン・ハットマン

衣装デザイン: マーリーン・スチュワート

編集: ジョー・ハッシング

音楽: ハンス・ジマー

出演:

キャメロン・ディアス アマンダ ロサンゼルス在住の映画予告編製作会社社長

ケイト・ウインスレット アイリス ロンドン郊外の片田舎に住む新聞記者

ジュード・ロウ グラハム ロンドン在住でアイリスの兄。2年前に妻に死別後、2児を男手ひとつで育てている

ジャック・ブラック マイルズ 映画音楽家マイルズ

イーライ・ウォラックアーサー 90歳の元有名脚本家アーサー

エドワード・バーンズ イーサン 作曲家。アマンダと同棲中だったが、浮気がばれて追い出される

ルーファス・シーウェル ジャスパー アイリスの同僚

ミフィ・イングルフィールド ソフィ グラハムの娘

エマ・プリチャード オリビア ソフィの妹

シャニン・ソサモン マギー

サラ・パリッシュ ハンナ

ビル・メイシー アーニー

シェリー・バーマン ノーマン

キャスリン・ハーン ブリストル

区切線

© 2017 m.tsukada. All Rights Reserved.